

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	自治会集会所建設補助				継続				
コード	18	-	23	-	03	-	00	予算事業名	地域自治振興
担当部署	市民部	市民活動支援課	自治振興担当	予算事業コード	会計 10	款 02	項 01	目 11	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	6章 人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市自治会集会所施設等整備事業補助金交付要綱
方向性(節)	1節 ふれあいと思いやりのある地域社会の形成	個別計画等の名称	なし
施策	1 地域コミュニティ活動の推進		
細施策	3 コミュニティ施設の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	自治会集会所施設の新築整備を支援し、コミュニティ活動の推進を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	自治会集会所施設の新築整備にあたり助言・指導し、建設費に対し補助金を交付する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		11,000	0	10,000	20,000	20,000	
事業費	A	11,000	0	10,000	20,000	20,000	20,000
	B	962	962	962	962	962	962
総コスト(C=A+B)		11,962	962	10,962	20,962	20,962	20,962
正規職員(1年間の従事人数)		0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	3,666	0	3,333	10,000	10,000	10,000
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		8,296	962	7,629	10,962	10,962	10,962

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
補助金交付件数	件	1	0	1	2	新築する場合に補助し、老人憩いの家を併用する場合がある。	
中心指標の考え方	本事業は、自治会活動の拠点となる集会所施設の新築整備を支援する活動なので活動指標を評価する。						
指標に基づく評価	自治会活動の拠点となる集会所施設の新築整備を支援することにより自治会活動が活性化する。						

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題 効率性に課題
集会所施設の老朽化により新築整備を希望する自治会は多いが、自己資金が少なく、補助金を頼りにしている場合が多い。また、資金を住民から調達する場合でも理解を得られない場合には地域内で不公平感が生じる恐れがある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
平成23年度中核市への調査(川越市調査):川越市と同様に補助金の限度額が1,000万円の市が比較的多く、最高は3,500万円、最少は0円。補助実績は1年間に1~2件が多い。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
集会所施設の新築する場合、建物の規模、設備にもよるが自治会費で賄うことは困難だと思われる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
自治会集会所施設は、地域コミュニティの拠点として今後もますます重要性は増してくると思われる。今後も着実な補助を行ってきたい。	